

生活福祉委員会

(1)交通安全について

- ①増加傾向にある市内の交通事故状況に対し、さらなる交通安全教室の充実及び効果的な交通安全に係る啓発に努めること。
- ②生活道路の安全確保を目的として、地域住民の理解及び警察等関係機関との連携の上、「ゾーン30」の導入に向けた取組などの検討を進めること。

(2)子育て家庭支援について

- ①子育て支援体制について、心のサポーター事業のさらなる充実とサポーターからの相談に対し、福祉・法律等の専門的知見から指導・助言を行える体制の整備に努めること。
- ②地域福祉の充実の観点から、所管部署間の連携を強化するなど、地域社会での子育て機能の向上を図ること。

産業建設委員会

(1)中小企業の活性化について

- ①鈴鹿市における中小企業の概況把握が不十分であるため、市内の中小企業の数、業種分類等を把握管理し、企業カルテ等の作成に努めること。
- ②企業のニーズを的確にとらえ、企業の立地・進出等の妨げとなるものを調整し、新しい企業・新しい産業が、生まれ・育つ環境の整備に努めること。

(2)F1に関連した観光産業について

- ①鈴鹿F1日本グランプリ地域活性化協議会において、行政の連携としては5市1町の連携のみとなっているため、県南部の市町とも連携を進め、広域的に観光行政に取り組むこと。
- ②過去にもあったように、F1が鈴鹿で開催されなくなるという可能性もあるため、他の観光資源において、集客につながる新たな価値を創造に取り組むこと。

(3)獣害対策について

- ①野生動物は鈴鹿市内だけでなく、隣接する地域すべてを移動するため、鈴鹿市内だけの対策では不十分であり、近隣市町と連携した広域での対策に取り組むこと。
- ②野生動物が生息する原因となる耕作放棄地を新たに作らないような政策を検討すること。
- ③猟友会の高齢化が懸念されており、新たに野生動物の捕獲に従事するものの創出に努めること。
- ④捕獲のみならず、野生動物居留地等の配備による個体数管理も視野に入れた政策を検討すること。

議会運営委員会活動報告

11月5日(火)と11月6日(水)の2日間において、福岡県北九州市と山口県下関市を訪れ、それぞれ議会運営について行政視察を実施した。

視察内容は、会議日程について、代表質問・一般質問について、議案質疑について、予算・決算の審査方法について、常任委員会の審査状況について、議会の広報広聴について、議会基本条例の制定とその運営について、議会改革の取組み等であり、鈴鹿市議会の状況と照らし合わせながら、両市の運営方法等について説明を受けた。

特に、両市の議会においては、議会報告会が積極的に実施されており、その開催状況や、報告の手法等について説明を受け、詳しい状況を調査研究するなどした。

